

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2002-501015 (P2002-501015A)

【公表日】平成 14 年 1 月 15 日 (2002.1.15)

【出願番号】特願 2000-528271 (P2000-528271)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/688

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/46

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/38

A 6 1 P 33/02

【F I】

A 6 1 K 31/688

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/46

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/38

A 6 1 P 33/02

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 29 日 (2004.11.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 活性成分ミルテフォシン 10 ~ 250 mg の範囲内の全一日量を 2 ~ 6 週間の期間に亘り経口投与することによる、ヒトのリーシュマニア症を治療するための薬物を製造するためのミルテフォシンの使用。

【請求項 2】 全一日量が、活性成分ミルテフォシン約 50 mg ~ 約 150 mg である、請求項 1 記載の使用。

【請求項 3】 全一日量が、活性成分ミルテフォシン約 100 mg である、請求項 1 または 2 記載の使用。

【請求項 4】 投与を、約 4 週間の期間に亘り毎日続ける、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項記載の使用。

【請求項 5】 経口投与を、全一日量がそれぞれ活性成分ミルテフォシン 50 mg、100 mg および 150 mg である場合に、1 日に 1 回、2 回または 3 回行う、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載の使用。

【請求項 6】 複数回の一日量を、等量で投与する（例えば、100 mg 活性成分 / 日 = 2 × 50 mg 活性成分 / 日、150 mg 活性成分 / 日 = 3 × 50 mg 活性成分 / 日）、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の使用。

【請求項 7】 治療されるリーシュマニア症が内臓、皮膚粘膜および / または皮膚で

ある、請求項 1 から 6 までのいずれか 1 項記載の使用。

【請求項 8】 ほ乳動物の体重 1 k g あたり活性成分ミルテフォシン 1 ~ 1 5 m g (m g 活性成分 / k g) の範囲内の全一日量を、 2 ~ 8 週間の範囲内の期間に亘り経口投与することによる、ヒト以外のほ乳動物におけるリーシュマニア症を治療するための薬物を製造するためのミルテフォシンの使用。

【請求項 9】 初期の一回の一日量 (負荷投与量) が 3 ~ 1 5 m g 活性成分 / k g の範囲内および次の一日量 (維持量) が、 1 ~ 1 0 m g 活性成分 / k g の範囲内にある、請求項 8 記載の使用。

【請求項 1 0】 負荷投与量が 5 ~ 1 0 m g 活性成分 / k g の範囲内にある、請求項 8 または 9 記載の使用。

【請求項 1 1】 維持量が 3 ~ 5 m g 活性成分 / k g の範囲内にある、請求項 8 または 9 記載の使用。

【請求項 1 2】 経口投与期間が 4 週間である、請求項 8 から 1 1 までのいずれか 1 項記載の使用。

【請求項 1 3】 イヌ、全てのげっ歯類およびハムスターのような愛がん小動物をそれにより治療する、請求項 8 から 1 2 までのいずれか 1 項記載の使用。

【請求項 1 4】 治療されるリーシュマニア症が内臓、皮膚粘膜および / または皮膚である、請求項 8 から 1 3 までのいずれか 1 項記載の使用。

【請求項 1 5】 ミルテフォシンを含有する医薬品、鎮吐薬および / または止瀉薬と一緒にまたは互いに独立して投与してよい、ミルテフォシンを含有する医薬品、鎮吐薬および / または止瀉薬からなる、ほ乳類におけるリーシュマニア症を治療するための薬剤学的組合せ物。